資料１

第３次基本計画及び第３期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理の結果について

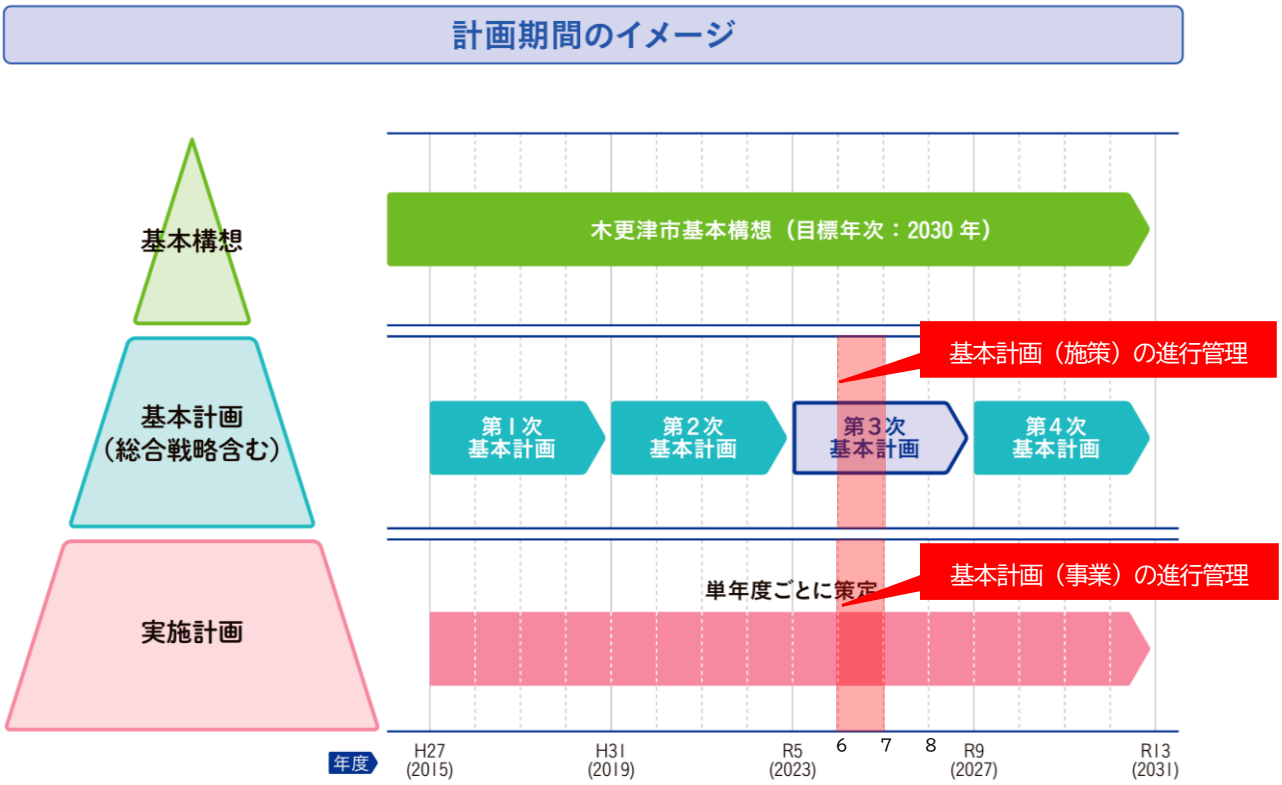
１　第３次基本計画について

木更津市総合計画は、本市のまちづくりを総合的かつ計画的に進めるための指針となるもので、基本構想、基本計画、実施計画の３階層で構成されています。

基本構想は、本市がめざすべき将来像を明らかにし、これを実現するための基本的な方向性（基本理念や施策の大綱）を示したもので、令和１２年を目標年次としています。

基本計画は、基本構想を実現するための基本的な考え方や施策の方向性等を基本方向別に示したもので、４年ごとに策定しています。

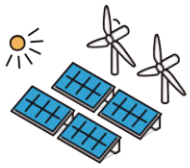
実施計画は、基本計画に位置付けた施策目標を達成するために進める様々な事業のうち、特に重点的に取り組む事業（重点事業）について、毎年度の予算編成と連動させた計画です。令和６年度は７９事業を位置付け、各事業に取り組みました。



2　第３次基本計画　施策体系

基本方向	基本政策	施策
01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	01 保健・医療の充実	01 保健の充実
		02 医療の充実
	02 社会福祉の充実	03 地域福祉の推進
		04 高齢者支援の充実
		05 障がい者支援の充実
	03 防災・消防体制の充実	06 災害に強いまちづくりの推進
		07 消防・救急救助体制の充実
	04 生活安全の充実	08 防犯体制の充実
		09 交通安全対策の充実
		10 消費者支援の充実
02 子どもを育む環境づくり	01 子育て支援の充実	11 子育て支援の充実
	02 学校教育の充実	12 学校教育の充実
	03 青少年の健全育成	13 青少年の健全育成
03 まちを支える人づくり	01 社会教育の推進	14 社会教育の充実
	02 スポーツ・レクリエーションの振興	15 スポーツ・レクリエーションの振興
	03 市民文化の充実	16 市民文化の充実
	04 人権擁護・男女共同参画の推進	17 人権擁護の推進
		18 男女共同参画の推進

基本方向	基本政策	施策
04 まちのにぎわい・活力づくり	01 企業誘致の推進	19 企業誘致の推進
	02 産業の振興	20 農業の振興
		21 林業の振興
		22 水産業の振興
		23 商工業の振興
		24 勤労者支援の充実
	03 観光の振興	25 観光の振興
	04 広域交流・国際交流の推進	26 広域交流の推進
		27 国際交流の推進
05 まちの快適・うるおい空間づくり	01 土地利用の適正化	28 土地利用の適正化
	02 都市環境の充実	29 市街地整備の充実
		30 公園・緑地の充実
		31 住環境の整備
		32 良好な景観形成の推進
	03 交通環境の充実	33 交通体系の充実
		34 港湾機能の充実
	04 生活環境の充実	35 上水道の充実
		36 下水道等の整備
		37 資源循環の推進
		38 生活衛生の向上
	05 自然環境の保護・環境の保全	39 地球温暖化対策の推進
		40 環境の保全
構想の実現に向けて	01 市民参加の推進・情報発信力の強化	41 市民参加の推進
		42 魅力発信力の強化
		43 移住・定住の推進
	02 協働の推進	44 オーガニックなまちづくりの推進
		45 協働によるまちづくりの推進
	03 質の高い行財政運営の推進	46 質の高い行財政運営の推進
	04 広域行政の推進	47 広域行政の推進
	05 ICT活用の推進	48 DX推進に向けたICT活用



３　第３次基本計画に位置付けた施策の進行管理

第３次基本計画（令和５年度～令和８年度）に位置付けた４８の施策について、それぞれの施策の目標達成に向け、令和６年度の取組結果や課題を踏まえた今後の方針について検討する進行管理を実施したので、取りまとめ結果を報告します。

今後は、今回の結果と今年度実施する市民アンケートの調査結果等を総合的に評価し、必要に応じて計画の見直し等を検討します。

なお、施策別の詳細については、資料２「基本計画　施策の進行管理票」をご参照ください。

基本方向		施策数	達成（進捗）度		
			A	B	C
(1)	安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	１０		１０	
(2)	子どもを育む環境づくり	３	１	２	
(3)	まちを支える人づくり	５	１	４	
(4)	まちのにぎわい・活力づくり	９		８	１
(5)	まちの快適・うるおい空間づくり	１３	２	１０	１
(6)	構想の実現に向けて	８	１	６	１
合　計		４８	５ 10.42%	４０ 83.33%	３ 6.25%

※達成（進捗）状況については、施策の進行管理票における取組（進捗）状況や成果指標などを総合評価し、３段階で表示しています。

A　目標達成または順調に進捗している

B　概ね順調であるが、より一層の取組（施策）の推進が必要（目標達成に向け一定の進捗がある）

C　さらなる重点的な取組（施策）の推進が必要

４　第３次基本計画の重点事業の進行管理

重点事業とは、第３次基本計画に位置付けた４８の施策目標を達成するために、市が取組を進める様々な事業のうち、特に重点的に取り組む事業です。

市では、令和６年度に実施する計画とした７９の重点事業について、取組状況を把握し、必要に応じて計画の見直し等について検討を行う進行管理を実施しましたので、進捗状況の取りまとめ結果を報告します。

今後は、この結果等を踏まえ、令和８年度当初予算編成の参考資料として役立ててまいります。

なお、事業別の詳細については、資料３「基本計画　事業の進行管理票」をご参照ください。

（単位：千円）

基本方向		事業	進捗度			前年度繰越額	当初予算額	決算見込額
			○	△	×			
(1)	安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	１５	１２	３		538,312	1,118,287	963,813
(2)	子どもを育む環境づくり	１６	１５	１		119,544	868,147	604,626
(3)	まちを支える人づくり	４	４			0	250,593	247,347
(4)	まちのにぎわい・活力づくり	１３	１１	２		30,338	346,481	277,332
(5)	まちの快適・うるおい空間づくり	２４	１９	５		510,479	2,120,390	1,670,747
(6)	構想の実現に向けて	７	５	２		26,202	507,144	398,162
合　計		７９	６６ 83.5%	１３ 16.5%	０ 0%	1,224,875	5,211,042	4,162,027

※進捗状況については、当該年度の実施計画に対し、事業の取組状況を３段階で表示しています。

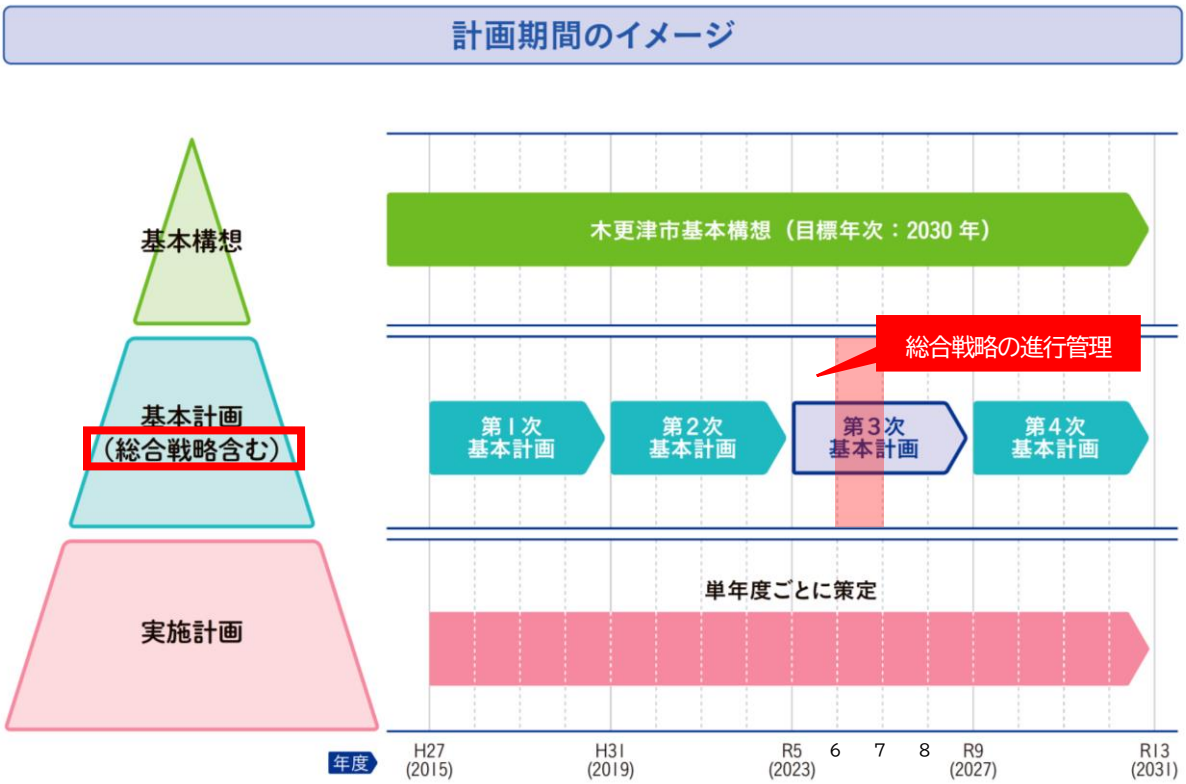
○　計画どおり実施・・・・・・・・・・・令和６年度実施計画書のとおり実施できた事業

△　計画どおりには実施できなかった・・・事業の見直しや繰越等により、実施計画どおりには実施できなかった事業

×　事業の中止・休止・・・・・・・・・・事業の見直し等により、中止もしくは休止した事業

５　第３期まち・ひと・しごと創生総合戦略について

「第３期総合戦略」は、「第３次基本計画」に位置付ける各施策の中から、地方創生の推進に向けた戦略的な取組を分野横断的に抽出し、基本計画と一体的に策定した計画です。



総合戦略では、４つの基本目標を設定しています。

基本目標１▶▶地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む

基本目標２▶▶多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる

基本目標３▶▶自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を推進する

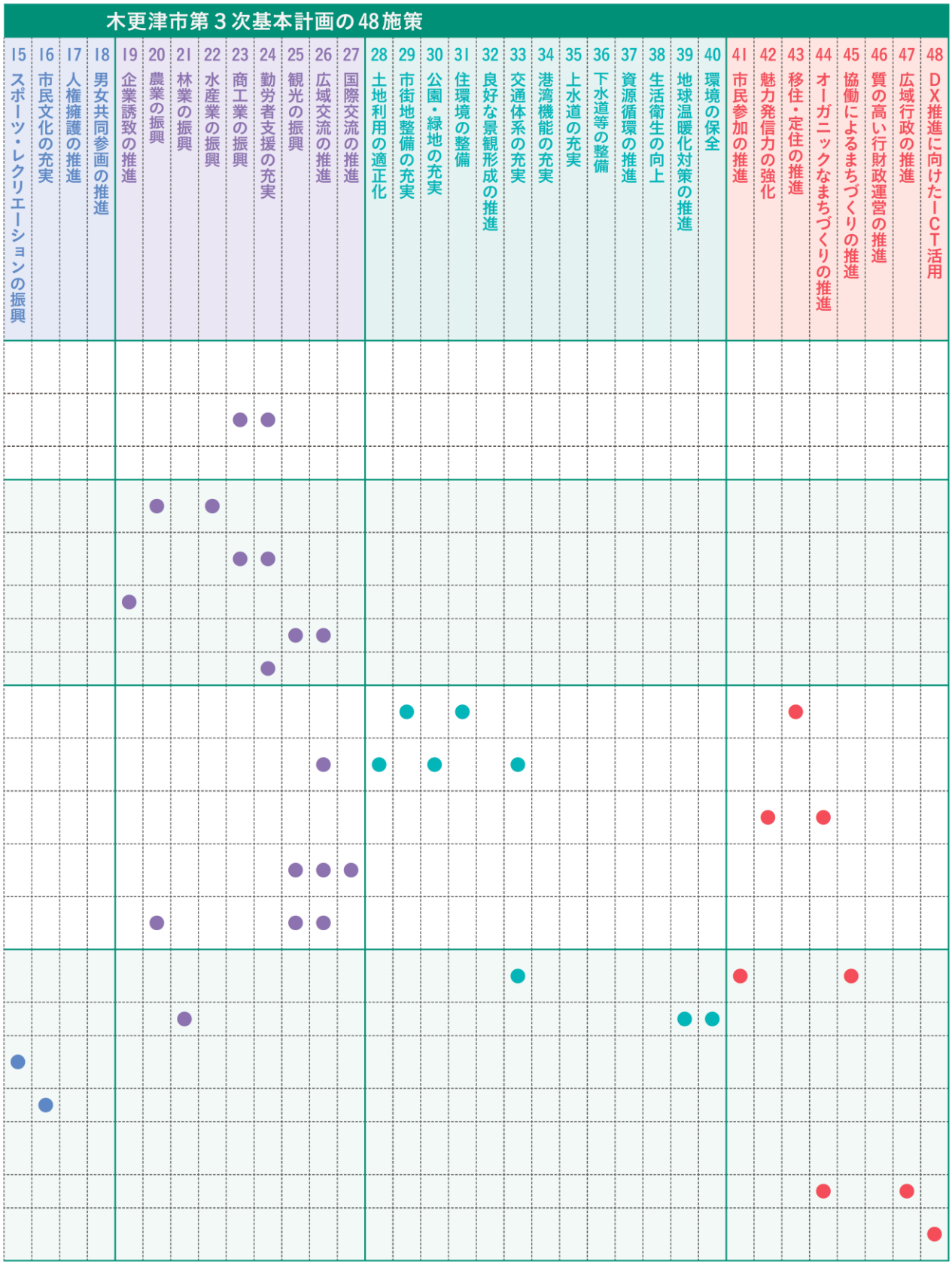
基本目標４▶▶市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する

基本目標ごとに基本的方向を定め、基本的方向ごとに基本計画の関連施策と主な取組を位置付けています（関係性は６・７ページを参照）。

なお、進捗状況を確認するための指標として、各基本目標においては「第２期総合戦略」からの継続性を踏まえた数値目標を設定し、基本的方向においては「第３次基本計画」との関連性が高い施策の指標を用いて重要業績評価指標（ＫＰＩ）を設定しています。

6　第３期総合戦略と第３次基本計画との関係

基本目標	基本的方向	01 保健の充実	02 医療の充実	03 地域福祉の推進	04 高齢者支援の充実	05 障がい者支援の充実	06 災害に強いまちづくりの推進	07 消防・救急救助体制の充実	08 防犯体制の充実	09 交通安全対策の充実	10 消費者支援の充実	11 子育て支援の充実	12 学校教育の充実	13 青少年の健全育成	14 社会教育の充実
1 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む	(1) 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援	●										●			
	(2) 働きながら産み育てやすい環境づくり														
	(3) 「木更津っ子」を育む教育の充実												●	●	
2 多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる	(1) 農林水産業の成長産業化への支援														
	(2) 産業・創業及び地域産業の持続的成長に対する支援														
	(3) 企業誘致の推進														
	(4) 観光産業の競争力強化														
	(5) 安定した雇用の確保														
3 自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を推進する	(1) 多様なライフスタイルがかなう定住の推進														
	(2) 快適で暮らしやすいコンパクトなまちの形成														
	(3) 木更津の様々な魅力の情報発信の強化														
	(4) アクアライン等を活かした交流人口の創出														
	(5) 多様な地域資源を活かした関係人口の創出														
4 市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する	(1) 市民力・地域力による自立した地域づくり														
	(2) 生物多様性を育む自然との共生														
	(3) 生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域づくり	●			●										●
	(4) ふるさと木更津づくり														
	(5) 安心で暮らしやすい防災都市づくり						●								
	(6) 多様な主体との連携推進														
	(7) DX推進による住みよいまちづくり														


木更津市第３次基本計画の48施策
15 スポーツ・レクリエーションの振興
16 市民文化の充実
17 人権擁護の推進
18 男女共同参画の推進
19 企業誘致の推進
20 農業の振興
21 林業の振興
22 水産業の振興
23 商工業の振興
24 勤労者支援の充実
25 観光の振興
26 広域交流の推進
27 国際交流の推進
28 土地利用の適正化
29 市街地整備の充実
30 公園・緑地の充実
31 住環境の整備
32 良好な景観形成の推進
33 交通体系の充実
34 港湾機能の充実
35 上水道の充実
36 下水道等の整備
37 資源循環の推進
38 生活衛生の向上
39 地球温暖化対策の推進
40 環境の保全
41 市民参加の推進
42 魅力発信力の強化
43 移住・定住の推進
44 オーガニックなまちづくりの推進
45 協働によるまちづくりの推進
46 質の高い行財政運営の推進
47 広域行政の推進
48 DX推進に向けたICT活用

７　第３期総合戦略の進行管理の結果について

４つの基本目標ごとに、指標として位置付けた数値目標の令和６年度における進捗状況と検証結果について報告します。

基本目標１　地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む

数値目標		基準値 計画策定時	実績値 Ｒ５年度	実績値 Ｒ６年度	目標値 Ｒ８年度
指標 1	出生数	948 人 （令和 3 年度）	891 人 （R6. 3. 31）	843 人 （R7. 3. 31）	1, 000 人
指標 2	幼年期（０歳～４歳）人口の社会増	102 人 （令和 3 年度）	38 人 （R6. 3. 31）	62 人 （R7. 3. 31）	230 人
指標 3	市内の小学校１年生の児童数	1, 194 人 （令和 3 年度）	1, 159 人 （R6. 3. 31）	1, 160 人 （R7. 3. 31）	1, 194 人

☞　基本的方向・ＫＰＩは、資料４・４ページを参照

基本目標２　多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる

数値目標		基準値 計画策定時	実績値 Ｒ５年度	実績値 Ｒ６年度	目標値 Ｒ８年度
指標 1	「らづ-Biz」の支援を受けて新規創業した件数【累計】	69 件 （令和 4 年 12 月末）	101 件 （R6. 3. 31）	122 件 （R7. 3. 31）	100 件
指標 2	有効求人倍率	1. 22 倍 （令和 3 年度平均）	1. 39 倍 （令和 4 年度平均）	1. 34 倍 （令和 5 年度平均）	1. 77 倍

☞　基本的方向・ＫＰＩは、資料４・12 ページを参照

基本目標３　自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を促進する

数値目標		基準値 計画策定時	実績値 Ｒ５年度	実績値 Ｒ６年度	目標値 Ｒ８年度
指標 1	人口の社会増	721 人 （令和 3 年度）	1, 278 人 （R6. 3. 31）	886 人 （R7. 3. 31）	1, 650 人
指標 2	年間観光客入込客数 （大規模集客施設を除く）	1, 445 千人 （令和 4 年）	1, 557 千人 （令和 5 年）	2, 487 千人 （令和 6 年）	1, 837 千人

☞　基本的方向・ＫＰＩは、資料４・21 ページを参照

基本目標４　市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する

数値目標		基準値 計画策定時	実績値 Ｒ５年度	実績値 Ｒ６年度	目標値 Ｒ８年度
指標 1	木更津市に愛着や誇りを感じている人の割合 【市民意識調査結果】 該当回答者数／全回答者数	78. 7% 822／1, 045 人 （令和 3 年度）	―	83. 5% 817／978 人 （令和 6 年度）	90%
指標 2	災害対策コーディネーター養成講座受講者数【累計】	261 人 （令和 4 年 12 月末）	290 人 （R6. 3. 31）	310 人 （R7. 3. 31）	375 人
指標 3	認知症サポーター養成講座受講者数【累計】	11, 090 人 （令和 4 年 12 月末）	12, 195 人 （R6. 3. 31）	13, 121 人 （R7. 3. 31）	13, 500 人

☞　基本的方向・ＫＰＩは、資料４・32 ページを参照